

Dr. 板東のメディカルリサーチ No. 197

〈我々の 未来社会は バージョン5〉

我々は今どんな社会に生きているだろうか？ 一般的にはしばしば「情報社会」と言われてきた。情報通信技術(ICT)の大きな発展によって、生活が便利になったことが多い。長い歴史の中で、現代は第4段階にあり、「**情報社会(Society 4.0)**」に該当するという。

◆狩猟から 始まり農耕 工業へ

それでは、太古の昔を振り返ってみたい。人類が集団生活するようになった当初、食べて生存するため、狩猟をしていたであろう。これが「**狩猟社会(Society 1.0)**」である。その後、人々は集落で定住するようになり、皆で協力しながら土地を耕し食物を得る生活に変わった。「**農耕社会(Society 2.0)**」だ。この状況が長く続いた後、生活レベルが飛躍的に上がることに。イギリスで18世紀にみられた産業革命によって、「**工業社会(Society 3.0)**」に進化した。

さて、現代の社会状況はいかがだろうか。現実に知識や情報が溢れているが、その真偽も明らかでない。適切に共有されず、分野横断的な連携が不十分な状況である。最近ちょうど「メタ」の世界が登場してきたばかり。これからどのようにうまく応用していくかが課題となるだろう。

◆サイバーと フィジカル空間 融合し

ここで1つクイズを。次世代の社会とは？

内閣府による第5期科学技術基本計画で、人間

中心の「**未来社会(Society 5.0)**」となるそうだ。サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させる。すると、あらゆる情報が集積することになり(ビッグデータ)。本データを人工知能(AI)が解析し、高付加価値を現実空間にフィードバックさせるという。このように経済発展と社会的課題の両者を解決できていく未来社会に期待したい。

◆医療でも すべてを統合 インテグラル

将来はあらゆる分野で新しい姿が出現する。医療では従来、病気 vs 健康、病人 vs 健常者、care vs cure、illness vs wellnessなど、対立軸に沿った評価がなされてきた。これからは、日常でも社会でも、医療との接点が増え、すなわち、すべてを包括して、総合的に、いわば積分(インテグラル、∫、統合的)のように対応する時代が到来するだろう。

(板東浩、ばんどうひろし、医学博士、糖尿病専門医、ピアニスト)

